

(言語療法学科)

授業科目名	臨床実習	授業時数又は単位数	630時間、14単位
実施期間	5月～9月にかけて、7週間×2回実施する。		
実習・演習等の目的及び概要	<p>4年次「臨床実習」は、3年次「臨床見学実習」の次の段階に位置づけられるもので、以下を目的として実習に取り組むものとする。</p> <p>1) 言語聴覚障害の評価および治療訓練技術について実践し、従来学んできたことの理解を深め、不十分な面を高める努力をする。</p> <p>2) 患児・患者諸氏やその親族、実習指導者等との交流を通じて、専門職としていかにあるべきかを考え、信頼される専門職として活動していけるよう自己を高める努力をする。</p>		
企業等との連携の基本方針	学院では実習前に言語聴覚士にとって必要な知識や評価法など学習面の確認を行い、実習指導者には言語聴覚療法に必要な評価・訓練について指導してもらう。		
企業等との連携内容	臨床実習は、患児・患者諸氏やそのご家族、実習施設、実習指導者各位のご協力により成り立つものである。実習生は、実習期間中は実習指導者の下で臨床活動の一端を経験し、学院の教職員は、実習指導者との間の各種調整や実習生への総合的指導を行うものとする。		
学修成果の評価方法	1・2期の臨床実習における臨床実習評価表および、臨床実習終了後、学院において行う筆記試験をもとに総合判定を行う。		

実習・演習等計画

日程	実習・演習等の内容	実施場所
開始前	オリエンテーション	学院内
第1週目	施設見学、評価・訓練の見学、担当症例の初期観察・評価	連携施設
第2～3週目	訓練計画の立案、評価・訓練の実施・見学、文献研究	連携施設
第4～5週目	評価・訓練の実施・見学、文献研究 * 実習指導者から実習生に対する中間評価	連携施設
第6週目	評価・訓練の実施・見学、担当症例の再評価、症例報告の準備、文献研究	連携施設
第7週目	評価・訓練の実施・見学	連携施設
終了後	症例報告、全般的指導	学院内